

1. 評価結果概要表

【評価実施概要】

事業所番号	270100811		
法人名	社会福祉法人 諏訪ノ森会		
事業所名	グループホーム 星遊荘		
所在地 (電話番号)	〒030-0933 青森県青森市諏訪沢字丸山63-2 (電話) 017-726-8500		
評価機関名	社団法人青森県老人福祉協会		
所在地	〒030-0822 青森県青森市中央3丁目20-30 県民福祉プラザ3階		
訪問調査日	平成 20年 8月 5日	評価確定日	平成 20年 10月 13日

【情報提供票より】(平成 20年 7月 10日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成) 10年 12月 1日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	8 人	常勤	6人, 非常勤 2人, 常勤換算 5.5人

(2) 建物概要

建物構造	木造 造り		
	1 階建ての	階 ~	1 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	12,000 円	その他の経費(月額)	10,500 円
敷金	有() 円 (無)		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有() 円 (無)	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	400 円	昼食 400 円
	夕食	400 円	おやつ 200 円
	または1日当たり 円		

(4) 利用者の概要(7月 10日現在)

利用者人数	9 名	男性	0 名	女性	9 名
要介護1	1 名	要介護2	0 名		
要介護3	6 名	要介護4	2 名		
要介護5	0 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 82.9 歳	最低	74 歳	最高	97 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	諏訪沢クリニック、医療法人ミナトヤ歯科医院
---------	-----------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

満天の星が輝きそうな静かな森の中に「星遊荘」があり、周りには果樹園、野菜畑があり、入居者は「ゆったり」「いっしょに」「たのしみながら」家庭的な生活をしている。加齢による体調不良等で地域交流は少なくなっているが、広大な自然環境の中、裏山での散策、野菜づくり、諏訪の森法人内での交流は行われている。特筆すべきは行事毎に「目標」を決め、それに向かって、入所者、職員一丸となって取り組んでいる。週1回の健康相談も独特で、医師と語り合うだけで入居者の心を和ませているとの事である。ターミナルケアについても前向きに取り組んでおり、ケアの質向上につとめている。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	評価については管理者、職員一体となって積極的に取り組んでいる。家族の要望や意見についても前向きに検討されており、本人と共に過ごし支えあう信頼関係が十分になされている。改善課題についても運営者、管理者、職員が一丸となり改善に取り組んでいる。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	管理者、職員ともに自己評価、外部評価を実施する事により、改めて業務の見直しとともに客観的な評価を加え、どんな些細なことでも職員間で話し合い、入居者の更なるケアの向上に努める取り組みをしている。
重点項目	運営推進会議の主な検討内容及びそれをいかした取り組み(外部4, 5, 6)
	運営推進会議には市、地区民生委員、家族の参加のもと、定期的実施されており、サービスの向上に繋がる事業所の取り組み、情報を積極的に取り入れている。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部10, 11)
	家族の意見や要望を運営推進委員会などで話し合い、具体的にわかり易く対応し、家族の理解を得るなど取り組みがされている。玄関に気温差が激しいので風除室を設置して欲しいとの要望があり今後取り組んで行く姿勢が見受けられる。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	立地上、地域交流が難しく、また高齢化により地域に出かける事が困難となっている中で、地域の方が施設を訪問して下さるように広報や話かけをするよう努力しているが、災害対策としても地域との交流の強化に取り組む事を望む。

2. 評価結果(詳細)

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「共生の構築」を事業所の基本理念とし、さらに職員間で話し合い「星遊荘」独自の理念として掲げ、利用者サービスの向上に努めている。		簡単、明瞭に誰でもわかるような理念の取り組みに期待したい。
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	管理者と職員は理念について話し合い、更に噛み砕いた独自の理念を共有し、利用者のサービスの向上に努め、家族や法人間の関係を大切にしている。		
2. 地域との支えあい					
3	4	隣近所、地域とのつきあい及び地域貢献 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけあったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるよう努めている。事業所は地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。また、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。担当職員はキャラバンメイトになるなど、地域の認知症普及活動に参加している。	広大な森に点在する法人施設間での交流は進められ、緑豊かな立地条件の下で野外活動等が行われている。昨年までは地域との付き合いがあったが、利用者の加齢、体調不良、トイレ等の問題があり、今年はお出かけすることが少なくなっており、また地域貢献も行われていない。		加齢に伴い地域へ出向く困難を来しながらも、利用者の活性化のため、幅広い広報を発信し、地域とのかかわりを深めることを期待したい。又、災害時は地域の人々の協力が必要と思われるので、関わりを持つ努力が望まれる。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	5	<p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<p>管理者、職員は自己評価を実施する事で改めて意義を理解され、評価を生かした取り組みをしている。外部評価の意義も理解し、時間を確認するための時計のチェック、大皿を小鉢にするなど具体的な改善に取り組んでいる。</p>		
5	6	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>町内の民生委員、家族、利用者等が参加し、2ヶ月に1度の会議を定期的実施している。サービスの実施状況、次回に向けての取り組み、話し合いが行われ、それらの結果をサービスの向上に活かしている。</p>		
6	7	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、運営や現場の実情等を積極的に伝える機会を作り、考え方や運営の実態を共有しながら、直面している運営やサービスの課題解決に向けて協議し、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>地区民生委員・青森市高齢介護保険課との情報交換や指導を受けている。</p>		
7	8	<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	<p>法人に権利擁護委員会があり、月1回勉強会が行われている。代表者が参加し、権利擁護や成年後見人制度について伝達している。現在、1名が成年後見人制度を利用しており、更に増える傾向にあるとのこと。</p>		<p>職員への伝達だけでなく施設内で学ぶ機会をもち、必要な時に活用できるような支援が望まれる。</p>
8	9	<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>虐待防止は介護の基本として職員全員が自覚しており、虐待は絶対に無いと自負しており職員の対応で確認できる。</p>		<p>虐待防止、成年後見人制度については制度の根本を基に施設独自の勉強会やマニュアルを作成し認識の共有化が必要と思われる。</p>

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
9	10	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>重要事項に基づいて説明をし、意見を求め、納得した上で契約をしている。更に更新時や不明な点については随時訪問し説明と確認をしている。</p>		
10	12	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>ご家族の面会時に現金出納簿や領収書を確認していただいたり、面会に来れない場合、預かり金は月末に通帳のコピーと領収書を送り確認されている。健康状態に変化のあった時、いち早く報告し、対応について相談している。職員の異動や利用者の暮らしぶりがわかるように広報誌が送付されている。</p>		
11	13	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>運営推進委員会に家族が参加しており、苦情、意見があれば出していただくように努めている。苦情処理箱が設置されているが箱には入っていない。ある家族から入居者の体重増加が指摘されたが体重の変化をグラフ化することで理解が得られた。</p>		<p>家族から急な職員異動が入居者の不安を増強するのではないかという指摘があったが個人や法人全体の問題であり、早急の解決は難しいとの事。アンケートに室温の急激な変化を止めるためにも玄関に「風除室」の設置希望があり、利用者や家族の不安の除去のためにも今後取り組む事に期待したい。</p>
12	16	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>職員の異動は、法人全体のことであり、部署の都合による異動(定期の異動)は否めないこともある。異動の報告があれば、早期に利用者・家族に伝えている。</p>		<p>利用者の心理面における生活への不安を少しでも軽減する取り組みが望まれる。</p>

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
13	17	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>法人内での委員会・学習会があり、職員が参加し、施設内で伝達研修が行われている。外部研修簿があり、希望する研修に参加できる等、積極的に取り組まれているが、予算内での研修には限りがある。</p>		
14	18	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>圏内のグループホーム懇親会に参加し、勉強会や問題解決を共有する等取り組まれている。次回は当施設の担当者が発表する事になっている。</p>		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
15	23	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>利用者の希望に応じて馴染みの家財等を持ち込んでいる。本人の希望を取り入れながら配置しているが危険防止、衛生上、どうしても置けない利用者もいる。気の合った方とつるげる様配慮するなど工夫されている。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
16	24	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>コミュニケーションを多くとり、一人ひとりのペースを大切にされ、無理強いすることなく自然体に沿って支援されている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
17	30	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	本人をしっかり理解した上で、言動・サイン・仕草から希望や意向を把握するよう努めている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
18	33	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	家族の意見を取り入れ、カンファレンスをし、本人や家族の意見や要望について話し合い、担当者の意見を反映した介護計画を作成している。		
19	34	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	状況の変化により介護計画の見直しの時はカンファレンスを開き、新たに計画を作成している。家族の参加が得られないときは随時訪問し、家族の意見をもとめ介護計画の作成に反映している。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
20	36	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	状況に変化があった時はリハビリ担当者、クリニック、訪問看護などすべての分野で支えあっている。事業所の多機能性を活かした支援が柔軟に行われている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
21	40	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>本人・家族の意向によってかかりつけ医が決められており、週1回受診し、医療が受けられている。</p>		
22	44	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>重度化や終末期について家族と話し合っている。ターミナルケア制度導入に向け、委員会を設立し、準備段階である。</p>		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
23	47	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>利用者の習慣や行動に注意してトイレ誘導したり、入浴時外部より見えないように配慮がされ、プライバシーの確保に取り組んでいる。また個人情報の取り扱いの指針に基づき記録物の整理・管理がなされている。</p>		
24	49	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>一人ひとりのペースが大切にされ、無理強いすることなく自然体にそって支援されている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
25	51	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、可能な場合は利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>食事に対する会話、視覚・臭覚による食欲増進に努めている。自分達の収穫物を食事に取り入れておりそれも話題の一つになっている。利用者にあった作業をしていただき、同じ物を職員と一緒に食べている。</p>		
26	54	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	<p>曜日は決められているが、時間は個々に合わせて支援している。しかし浴室が狭く、ドアが浴室側に開閉される状態であり、職員、利用者共に苦勞しておられる事が伺われる。</p>		<p>事故につながる可能性も考えられるため、ドアを折りたたみ式ドア又は引き戸にする等、改善が望まれる。</p>
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
27	56	<p>役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	<p>生活歴や趣味などを把握し、役割をもつ支援をしている。共同作業による目標達成感を見出し、次の意欲へと繋げていっている。百人一首、絵画製作、畑づくり等特色のある支援をしている。</p>		
28	58	<p>日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>	<p>加齢やトイレの問題で市内に出る事が年々厳しくなっている。しかし、施設が緑豊かな場所にあり、戸外の散策は対応している。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4)安心と安全を支える支援					
29	62	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束禁止は全職員が理解しており、身体拘束は無い。身体拘束だけでなく、拘束全般について理解し、マニュアル化する意向である。		
30	63	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	玄関にセンサーが付けられ鍵をかけないケアをしてきたが諸条件、社会状況から判断し、身を守るため、玄関は施錠している。		
31	68	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年2回避難訓練・防火訓練を定期的実施している。関連施設の応援を得る事になっている。地域の人々の協力を得られるようにはなっていない。		災害時は協力を得られない事も考えられるので、地域の人々の協力を得られるような体制の強化が望まれる。又夜間時の訓練も試みる必要があると思われる。
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
32	74	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事時に摂取量を把握し、変化のある時は観察、記録がなされ、水分の足りない方には好みの物で補給し、支援している。		
33	75	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	法人の感染予防対策委員会に参加し、対策について職員の目の届く所に掲示し、全員で予防や対策に取り組まれている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</p>					
<p>(1) 居心地のよい環境づくり</p>					
34	78	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>ロールカーテン・すだれ等で日差しを調整をしている等、居心地良く過ごせる工夫がされている。リビングから見えるテラスを季節の花でかざり、水の流れが涼を感じさせている。</p>		
35	80	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>利用者が使い慣れている道具や身のまわりの物を整理する箆箆等状況に合わせて居心地良い環境作りの工夫がされている。(本人の状況により出来ない場合もある。)</p>		

 は、重点項目。